

|      |  |      |    |      |    |
|------|--|------|----|------|----|
| 科目   | 精神看護学実習  |      |    |      |    |
| 時間数  | 2単位 80時間   | 授業方法 | 実習 | 授業時期 | 2年 |
| 実習場所 | 十全ユリノキ病院   |      |    |      |    |
| ねらい  | 精神障がいをもつ人および家族を理解し、精神看護の基本を学ぶ。   |      |    |      |    |
| 目標   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神障がいのある対象の生活に必要な援助を通して、看護の役割が理解できる</li> <li>2. 患者・看護者関係の発展過程を理解し、治療的関わりの実際を学ぶ</li> <li>3. 対象とのコミュニケーションを振り返ることで、自己の内面の変化に気づき、今後の課題を明確にすることができる</li> <li>4. 継続看護の視点から、精神障がい者に対する社会資源と社会参加の現状が理解できる</li> <li>5. ノーマライゼーションおよび権利擁護について自己の考えをまとめることができる</li> </ol>                |      |    |      |    |
| 授業計画 |  |      |    |      |    |
| 内容   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の提供により、対象の成育歴、家族歴、発症の時期や疾患の受け止め方を理解する</li> <li>2. 基本的日常生活動作の問題点に気づき、看護計画を立てる</li> <li>3. 自律性を重んじた具体的な援助を考える</li> <li>4. 作業療法・レクリエーション療法への参加及び SST・薬物療法を受ける患者の看護を学ぶ</li> <li>5. プロセスレコードにより自らのコミュニケーション技術を振り返り、相互関係を分析・評価する</li> <li>6. 毎日のカンファレンスにより、自己の感情の変化に気づく</li> </ol> |      |    |      |    |
| 評価方法 | 精神看護学実習評価表、実習適性態度評価表を総合して評価する  |      |    |      |    |